

2024年度
空間表現
(問題)

〈R06186281〉

注 意 事 項

1. この試験では、この問題冊子のほかに、解答用紙を配布する。
2. 試験開始の指示があるまで、問題冊子および解答用紙には手を触れないこと。
3. 問題は3ページに記載されている。試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁および解答用紙の汚損等に気付いた場合は、手を挙げて監督員に知らせること。
4. 解答はすべて解答用紙の所定欄（表側のみ）に、黒鉛筆（濃さは自由）で描くこと。所定欄以外に何かを記入した解答用紙は採点の対象外となる場合がある。
5. シャープペンシルは使用しないこと。また、スケッチ用器具、定規等も使用しないこと。
6. 受験番号および氏名は、試験が開始されてから、解答用紙の所定欄に正確に丁寧に記入すること（以下の記入例参照）。所定欄以外に受験番号・氏名を書いてはならない。
7. 受験番号の記入にあたっては、次の数字見本にしたがい、読みやすいように、正確に丁寧に記入すること。読みづらい数字は採点処理に支障をきたすことがあるので、注意すること。

（記入例）

5 7 0 0 1 番



万	千	百	十	一
5	7	0	0	1

（数字見本）

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

8. 問題冊子の余白等は適宜利用してよいが、どのページも切り離さないこと。
9. 試験終了の指示が出たら、すぐに解答をやめ、筆記用具を置き、解答用紙を裏返しにすること。
10. いかなる場合でも、解答用紙は必ず提出すること。
11. 試験終了後、問題冊子は持ち帰ること。

コロナ禍における生活のうち、印象的かつ特徴的であるとあなたが感じた状況について、空間風景を描写することで示してください。

コロナ禍においては、家庭内から都市、世界全体までの幅広い範囲にわたって、人々の社会活動や生活行動が変容し、それに合わせて生活空間の変容も見られました。ロックダウンや行動制限の影響を受け、また不幸にも罹患する場合もあったでしょうが、その一方で、災禍や制限に従属的になるだけではなく、空間の使い方を積極的に工夫したり、新たな協力関係や人とのつながりを構築したり、身の回りの日常について以前とは異なった感情をいだいたりするなど、それまで得られなかった新たな発見や活動もあったことでしょう。対象となる状況はさまざまなものが考えられますが、あなた自身の実体験や気付きのなかで、もっとも強く印象に残る情景を描いてください。

表現の方法は自由ですが、空間を表現することが目的のため、オンライン上の活動などのみを描くものではなく、実空間を立体的に表現してください。その際には、全体の構図や物質感の表現などに配慮して描いてください。

***以下注意点**

- ・ 用紙は縦使い、横使いのどちらでも可とします。
- ・ 描画にあたって定規を使用することはできません。鉛筆を用い、フリーハンドで絵を描いてください。
- ・ 陰影を施すことが強く望まれます。
- ・ 鉛筆を削った際には、試験終了後に後片づけをしてください。
- ・ その他、出題内容について不明と思われる部分は、各自で想定してください。

〔以下余白〕

採 点 欄				

(注) 整理番号・採点欄には記入しないこと。 整 理 番 号

(理工) _____

受験 番号	G	万	千	百	十	一

氏 名	
--------	--

(注) 整理番号は記入しないこと。 整 理 番 号

(理工) _____